

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-507101(P2000-507101A)

【公表日】平成12年6月13日(2000.6.13)

【出願番号】特願平9-533635

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 31/00
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 35/02
 A 6 1 P 37/00
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 P 43/00
 A 6 1 K 38/00
 C 0 7 K 16/24
 C 1 2 N 5/10
 C 1 2 N 15/02
 C 1 2 P 21/08
 C 1 2 Q 1/00
 C 1 2 Q 1/68
 G 0 1 N 33/15
 G 0 1 N 33/53
 G 0 1 N 33/566

【F I】

C 1 2 N 15/00	Z N A A
A 6 1 K 31/00	6 1 7 C
A 6 1 K 31/00	6 1 7 E
A 6 1 K 31/00	6 2 9 A
A 6 1 K 31/00	6 3 1
A 6 1 K 31/00	6 3 5
A 6 1 K 31/00	6 3 5 A
A 6 1 K 31/00	6 3 7
A 6 1 K 31/00	6 3 7 E
A 6 1 K 31/00	6 4 3 E
C 0 7 K 16/24	
C 1 2 P 21/08	
C 1 2 Q 1/00	Z
C 1 2 Q 1/68	A
G 0 1 N 33/15	Z
G 0 1 N 33/53	D
G 0 1 N 33/566	
C 1 2 N 5/00	B
C 1 2 N 15/00	C
A 6 1 K 37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月19日(2004.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 3月19日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成09年特許願第533635号

2. 補正をする者

氏名(名称) ヒューマン・ジェノム・サイエンシズ・
インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正により増加する請求項の数 24

5. 補正対象書類名 請求の範囲

6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容
別紙のとおり。



方 式 査 査



(別紙)

請 求 の 範 囲

1.

(a) 配列番号2の約28ないし約83のアミノ酸を含むポリペプチドをコードするヌクレオチド配列；

(b) 配列番号3の約16ないし約83のアミノ酸を含むポリペプチドをコードするヌクレオチド配列；

(c) 配列番号2の約1ないし約83のアミノ酸を含むポリペプチドをコードするヌクレオチド配列；

(d) ATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコードされるアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードするヌクレオチド配列；

(e) ATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコードされるアミノ酸配列を有する成熟CK α -2ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列；

(f) (a)、(b)、(c)、(d)または(e)のいずれかのヌクレオチド配列に対して相補的であるヌクレオチド配列；および

(g) (a)、(b)、(c)、(d)、(e)または(f)のいずれかのヌクレオチド配列の少なくとも30個の連続したヌクレオチドを含むヌクレオチド配列；
からなる群より選択される配列に対して少なくとも95%同一のヌクレオチド配列を有するポリヌクレオチドを有してなる単離された核酸分子。

2. ポリヌクレオチドが配列番号1のヌクレオチド配列を有する請求項1の核酸分子。

3. ポリヌクレオチドが配列番号2または配列番号3のアミノ酸配列を有するCK α -2ポリペプチドをコードする配列番号1のヌクレオチド配列を有する請求項1記載の核酸分子。

4. ポリヌクレオチドが配列番号2または配列番号3のアミノ酸配列を有する成熟CK α -2ポリペプチドをコードする配列番号1のヌクレオチド配列を有する請求項1記載の核酸分子。

5. ポリヌクレオチドがATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンのヌクレオチド配列を有する請求項1記載の核酸分子。

6. ポリヌクレオチドがATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコードされるアミノ酸配列を有するCK α -2ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を有する請求項1記載の核酸分子。

7. ポリヌクレオチドがATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコードされるアミノ酸配列を有する成熟CK α -2ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を有する請求項1記載の核酸分子。

8. ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下、請求項1の(a)、(b)、(c)、(d)、(e)、(f)または(g)のヌクレオチド配列と同一のヌクレオチド配列を有するポリヌクレオチドとハイブリッド形成するポリヌクレオチドを有してなる単離された核酸分子であって、そのハイブリッド形成するポリヌクレオチドが、ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下、A残基のみからなるまたはT残基のみからなるヌクレオチド配列を有するポリヌクレオチドとハイブリッド形成しない、単離核酸分子。

9. 請求項1の単離された核酸分子をベクターに挿入することからなる、組換えベクターの製法。

10. 請求項9の方法により産生される組換えベクター。

11. 請求項10の組換えベクターを宿主細胞に導入することからなる組換え宿主細胞の製法。

12. 請求項11の方法により産生される組換え宿主細胞。

13. ポリペプチドが発現されるような条件下で請求項12の組換え宿主細胞を培養し、そのポリペプチドを回収することからなる、CK α -2ポリペプチドを産生する組換え方法。

14.

(a) 配列番号2の約1-28ないし約83のアミノ酸；

(b) 配列番号3の約1-16ないし約83のアミノ酸；

(c) 配列番号2の約1ないし約83のアミノ酸

(d) ATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコード

されるアミノ酸配列を有するCK α -2ポリペプチドのアミノ酸配列；および

(e) ATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコードされるアミノ酸配列を有する成熟CK α -2ポリペプチドのアミノ酸配列；
からなる群より選択される配列に対して少なくとも95%同一であるアミノ酸配列を有する単離されたCK α -2ポリペプチド。

15. 組換え宿主細胞にて産生されるかまたは該細胞に含まれる請求項14記載の単離されたポリペプチド。

16. 組換え宿主細胞が哺乳動物細胞である請求項14記載の単離されたポリペプチド。

17. 請求項14のポリペプチドに対する抗体。

18. 請求項14のポリペプチドの発現に関連する疾患または疾患に罹り易さを診断する方法であって、該ポリペプチドをコードする核酸配列における変異を測定することからなる方法。

19. 宿主から由来の試料中の請求項14のポリペプチドの有無について分析することからなる診断方法。

20. 異種ポリヌクレオチドと融合した請求項1または2のいずれかに記載のポリヌクレオチド。

21. 当該異種ポリヌクレオチドが異種ポリペプチドをコードする、請求項20記載のポリヌクレオチド。

22. 当該異種ポリペプチドがポリヌクレオチドによりコードされるポリペプチドと融合される、請求項21記載のポリヌクレオチド。

23. ポリヌクレオチドが制御調節配列に作動可能に連結されている、請求項10記載のベクター。

24. 原核細胞、真核細胞、脊椎動物細胞、Cos細胞、CHO細胞またはイ-コリ細胞である、請求項12記載の宿主細胞。

25.

(a) 配列番号2の-28ないし83のアミノ酸を含むポリペプチド；

(b) 配列番号3の-16ないし83のアミノ酸を含むポリペプチド；

(c) 配列番号2の1ないし83のアミノ酸を含むポリペプチド；

(d) ATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコードされるアミノ酸配列を含むポリペプチド;

(e) ATCC受託番号97400に含まれるcDNAクローンによりコードされるアミノ酸配列を含む成熟CK α -2ポリペプチド;

(f) (a) - (e) の少なくとも30個の連続したアミノ酸を含むポリペプチド; および

(g) (a) - (e) の少なくとも50個の連続したアミノ酸を含むポリペプチド;

からなる群より選択される配列と同一のアミノ酸配列を有する単離されたCK α -2ポリペプチド。

26. 組換え宿主細胞にて産生されるかまたは該細胞に含まれる請求項25記載の単離されたポリペプチド。

27. 組換え宿主細胞が哺乳動物細胞である請求項25記載の単離されたポリペプチド。

28. 請求項25のポリペプチドに対する抗体。

29. 請求項25のポリペプチドの発現に関連する疾患または疾患に罹り易さを診断する方法であって、該ポリペプチドをコードする核酸配列における変異を測定することからなる方法。

30. 宿主から由来の試料中の請求項25のポリペプチドの有無について分析することからなる診断方法。

31. 標識、修飾またはポリエチレングリコールに融合されている、請求項14記載のポリペプチド。

32. 異種ポリペプチドに融合されている、請求項14記載のポリペプチド。

33. N-末端メチオニンを欠く、請求項14記載のポリペプチド。

34. N-末端メチオニンを有する、請求項14記載のポリペプチド。

35. 標識、修飾またはポリエチレングリコールに融合されている、請求項25記載のポリペプチド。

36. 異種ポリペプチドに融合されている、請求項25記載のポリペプチド。

37. N-末端メチオニンを欠く、請求項25記載のポリペプチド。

38. N-末端メチオニンを有する、請求項25記載のポリペプチド。
39. 請求項14または25に記載のポリペプチドに特異的に結合する、請求項17記載の抗体。
40. ポリクローナル、モノクローナル、キメラ、単鎖、ヒト抗体、ヒト化抗体またはFabフラグメントであるところの、請求項17記載の抗体。
41. ポリクローナル、モノクローナル、キメラ、単鎖、ヒト抗体、ヒト化抗体またはFabフラグメントであるところの、請求項39記載の抗体。
42. 請求項1-8および請求項20-22のいずれか一項に記載のポリヌクレオチドと、医薬上許容される担体とを含む、医薬組成物。
43. 請求項14-16および請求項25、31-34のいずれか一項に記載のポリペプチドと、医薬上許容される担体とを含む、医薬組成物。
44. 請求項17および請求項39-40のいずれか一項に記載の抗体と、医薬上許容される担体とを含む、医薬組成物。
45. 医薬の調製における、請求項1-8および請求項20-22のいずれか一項に記載のポリヌクレオチドの使用。
46. 医薬の調製における、請求項14-16および請求項25、31-34のいずれか一項に記載のポリペプチドの使用。
47. 医薬の調製における、請求項17および請求項39-40のいずれか一項に記載の抗体の使用。